

さいたま市民間提案制度・行政課題説明シート

件名	火災調査業務の効率化・精度向上
概要	より効率的に正確な火災調査を行うため、明暗差の激しい半屋外等の環境でも使用可能な自動露出補正機能のある360度カメラなどの撮影技術や撮影機材に関する提案を求める。
解決したい課題	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災現場で行う火災調査では、その状況を記録するためデジタルカメラを用いて写真撮影を行っているが、建物の規模によっては、撮影枚数が数百枚に及ぶこともあり、現場では長時間を要している。 ・火災調査の業務効率化は、全国的な課題にもなっている。 ・既製品では、火災調査に必要な画質等が得られない。また、明暗部の露出補正が難しく（一律の補正になってしまう）、暗室では撮影ができない。 ・火災調査に求められる写真は、焼けた木質構造材の状況がわかるような画質が求められる。（ゴツゴツとした様子や質感） <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・撮影時間を短縮することで、被災した市民に掛ける負担を軽減できる。（職員の負担軽減にもつながる。） ・撮影漏れを防ぐことができ、事務の効率化につながる。
求める提案(例)	—
市が提供できるメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所内に業務効率化した旨とシステムを提供してくれた企業名等を周知 ・HPで事例発表と併せ企業名の掲載
予算措置	予定なし
留意点	—
参考情報	<p>総務省HP・火災調査の業務効率化に向けた検討部会 https://www.fdma.go.jp/singi_kento/kento/post-61.html</p>
担当部署	消防局予防部予防課